

## 第2問

広島一中での織田幹雄さんは、放課後の練習をしているときに、友だちから「もう帰ろう。」と言われました。その後織田さんはどんなことをしたでしょう。

- ①友だちを待たせては申し訳ないと思い、急いで帰りの準備をして帰った。
- ②「もう少しやってから帰る。」と言って断った。
- ③夜まで練習を続けた。

【答え】

②と③

「もう少しやってから帰る。」と言って断り、夜まで練習を続けた。

【解説】

織田さんは広島一中のサッカー部から、新しくできた今の陸上部のような部である徒歩部に入部しました。しかし、当時の徒歩部は指導者もコーチもいませんでした。そんな中数少ない跳躍に関する海外の雑誌を参考に、自分で工夫しながらいつも熱心に練習を続けていました。昼休みの鐘がなるとすぐに運動場を走り、放課後は最後まで練習をしていました。友だちが「もう帰ろう。」と言っても、織田さんは「もう少しやって帰る。」と言って断りました。

そして誰もいなくなった運動場で，一人で練習に励みました。さらに，織田さんは休日に砂場で練習に励みました。やがて，織田さんは出場する大会で優勝し続け，世の中から注目されるようになりました。

【自分の考え】

私は，今後織田さんの生き方を見習って，人に流されず，自分の目標に向けて努力を惜しまない人になりたいと思いました。

